## 公共施設等総合管理計画および個別施設計画の改訂について

#### 1.1 計画改訂の必要性について

## 改訂の必要性1:『公共施設等総合管理計画の策定等に関する指針』の改訂内容を踏まえた計画見直しの要請

総務省の「公共施設等総合管理計画の策定等に関する指針」(令和4年4月1日改訂)において、<u>令和5年度</u> 末までに、脱炭素化の推進方針やこれまで公共施設等総合管理計画に基づいて実施してきた点検・診断の結果等を反映させて見直しを完了することとされた。

#### 改訂の必要性2:『湖南市公共施設等総合管理計画』『個別施設計画』の整合性を図る

「湖南市公共施設等総合管理計画」は平成28年3月、「湖南市公共施設等総合管理計画 個別施設計画」は令和3年3月(令和4年9月、令和5年3月に改訂)に策定しており、両計画の関係を踏まえた再整理が必要であるとともに、現状や関連計画との整合が図れるよう改訂が必要となっている。

#### 1.2 計画改訂の考え方

以下に示す「公共施設等総合管理計画の策定等に関する指針」(令和 5 年 10 月 10 日改訂)における「計画策定・改訂に当たっての留意事項」の概要を踏まえながら計画改訂を行う。

なお、上記の改訂で、「数値目標の設定と PDCA サイクルの確立」について、『努めること』であった表記から、『望ましい』に変更されている。

#### 留意事項1:行政サービス水準等の検討

- ・当該団体としてあるべき行政サービス水準を検討することが望ましい。
- ・個別の公共施設等において提供しているサービスの必要性について検討するに際しては、当該サービスが公共施設等を維持しなければ提供不可能なものであるか(民間代替可能性)など、公共施設等とサービスの関係について十分に留意することが必要。

## 留意事項2:公共施設等の実態把握及び総合管理計画の策定・充実

- ・改訂の検討時点において把握可能な公共施設等の状態(建設年度、利用状況、耐震化の状況、点検・診断の結果等)や取組状況(点検・診断、維持管理・更新等の履歴等)を整理して改訂する。
- ・総合管理計画の内容については、策定後も、総合管理計画及び個別施設計画の策定に伴い実施する点検・診断や個別施設計画に記載した対策の内容等を反映させるなど、不断の見直しを実施し順次充実させていくことが適当。

#### 留意事項3:議会や住民との情報共有等

・個別施設の老朽化対策等を行う事業実施段階においてのみならず、総合管理計画改訂段階においても、議会や住民への十分な情報提供等を行いつつ進めていくことが望ましい。

#### 留意事項4:PPP/PFI (民間連携事業)の活用について

・公共施設等の更新などに際しては、民間の技術・ノウハウ、資金等を活用することが有効な場合もあることから、PPP/PFIの積極的な活用・公共施設等の情報公開に努める。

#### 1.3 計画改訂のポイント

#### 改訂のポイント1:『公共施設等総合管理計画の策定等に関する指針』の改訂内容を踏まえた計画見直し

総務省の「公共施設等総合管理計画の策定等に関する指針」に基づく見直し(必要とされる項目)

#### 公共施設等総合管理計画記載すべき事項

#### 1. 公共施設等の現況及び将来の見通し

(1)公共施設等の状況(施設保有量とその推移、老朽化の状況、有形固定資産減価償却率の推移及び利用状況)及び過去に行った対策の実績

#### (2)総人口や年代別人口についての今後の見通し

(3)公共施設等の現在要している維持管理経費、維持管理・更新等に係る中長期的な経費の見込み(施設を耐用年数経過時に単純更新した場合の見込み、長寿命化対策を反映した場合の見込み及び対策の効果額)及びこれらの経費に充当可能な地方・基金等の財源の見込み等

### 2. 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

- (1)計画策定年度、改訂年度及び計画期間
- (2)全庁的な取組体制の構築及び情報管理・共有方策
- (3)現状や課題に関する基本認識
- (4) 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

①点検・診断等の実施方針、②維持管理・更新等の実施方針、③安全確保の実施方針、④耐震化の実施方針、⑤長寿命化の実施方針、⑥ユニバーサルデザイン化の推進方針、⑦脱炭素化の推進方針、⑧統合や廃止の推進方針、⑨数値目標、⑩地方公会計(固定資産台帳等)の活用、⑪保有する財産(未利用資産等)の活用や処分に関する基本方針、⑫広域連携、⑬地方公共団体における各種計画及び国管理施設との連携、⑭総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

#### (5) PDCAサイクルの推進方針

#### 3. 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針

⇒現行計画では一通り網羅されているが、現在の考え方や関連計画との整合性等について再確認・再整理が必要である。

#### 改訂のポイント2:『湖南市公共施設等総合管理計画』『個別施設計画』の整合性を図る

湖南市公共施設等総合管理計画・個別施設計画の再整理

- ⇒上記「公共施設等総合管理計画記載すべき事項」を踏まえ、総合管理計画を見直すとともに、個別施設に関す事項については個別施設計画に記載していくことを基本に再整理する。
- ⇒今後、各施設の情報を更新しやすくするため、施設毎の<mark>個票を作成</mark>して取りまとめることとする。また、建物の方向性については「統廃合」や「複合化」という表記から「統廃合(元)」や「複合化(先)」等へ変更するとともに、可能な限り備考欄に具体的な記述を行う。
- ⇒将来費用の算定については、現計画の算定方法に則しながらも、市場価格との整合性を図るため、公的機関等から公表されている資料を基に決定した単価を用いることとする。

# 公共施設等総合管理計画個別施設計画改定後の個別施設シートのイメージ



リスト形式から 各施設の個票へ



施設の方向性に関し、 可能な限り具体的な 記述を行っていく

## 今後のスケジュール

11月 マネジメント委員会(改訂等についての説明)

2月 改訂(案)作成

2月 行革本部会議

2月 マネジメント委員会(改訂案等についての説明)

3月 議会(改訂案等についての説明)

3月 計画改訂



施設の 方向性	実施時期(上段:工程表、下段:対策費用(千円))						
	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)
複合化	複合化の 検討	長寿命化					
		462, 374					
[/#/#C]							

【拥考】

H30年(2018年)策定教育施設管理計画により、放課後や休日等の学校の教育に支障を及ぼさない範囲において三雲学童保育所が一時利用したり、余裕教室を校舎棟1階に集め複合化を図る
が、校舎全体の教室の再配置等の調整を行います。また、建築後40年が経過し老朽化が顕著であることから長寿命化対策工事を実施します。